

# シンデレラ資格の通信簿

く女性向け人気資格&検定ダイジェスト特集く

ファッション系

インテリア系

料理系

癒し系

動物・環境系

医療系

福祉系

ビジネス系

語学系

文化系

## 女性のための資格って言うけどさ！

就職難やリストラ、出産と子育てによるブランク……働く女性の前途は多難である。どうにか活路を見出そうと、資格や検定に目を向ける女性も実が多い。「資格を取って好きな仕事をしよう」といった、自分探しのフレーズもしばしば耳にする。

実際のところはどうなのだろうか？

昔から人気があるのは事務や語学方面、最近は医療や福祉方面の「人のためになる仕事」の資格も注目株だ。また、ファッションやインテリアなど、趣味の延長線上にある一群も脚光を浴びているようだ。でも、資格を取得してもパートしかなかったり、実務経験なしでは仕事にならなかったり、ありやうやうという例も少なくない。

ひとくちに「役に立つ資格」といっても、その効果には差がある。特定の職業に必須とされる国家資格から、主催団体の周辺だけで完結している民間検定まで、さまざまなのである。評判のわりに役立たない「お飾り資格」も当然ある。

そこで、本特集では、女性に人気の資格&検定を総点検してみた。「就・転職にどう役に立つのか」に重点を置いた、全56種の通信簿だ。男性読者の参考にも、もちろんなるはずだ。

# 1 本特集内の

## 評価基準について

各資格&検定ごとに、3項目の評価を、3点満点(0・5刻み)でアイコン表示しています。本編の★評価コーナーとは、少し基準が異なります。級制度の検定の評価については、「とりあえず目標にしたい級」が対象になっているとお考えください。

●取得エネルギー…独学または講座や学校を利用する場合の大変さ、取得までの目安期間、試験の難易度などを総合して評価しています。本人の努力や能力次第で変動しませんが。

●取得コスト…取得までにかかる費用の目安です。一般的な取得方法

を選択した場合、最低限必要とされる金額を基準にしています。

●使える度…就・転職に有利か、昇給や昇格の対象となるか、就職した場合に安定収入を得られるか、といった観点から評価しています。

## 2 教育給付金制度について

厚生労働大臣が指定する講座を受けた場合、受講後に費用の40%にあたる額(最大20万円)がハローワークから支給される制度があります。対象となるのは、3年以上の雇用保険加入者です。退職者の場合、基本的に3年以上同じ職場で雇用保険を支払い、かつ離職後1年以内に受講した場合に限られます(例外あり)。同じ資格や検定を扱っていても、

対象とならない講座も存在します。ハローワークや厚生労働省のホームページで、「厚生労働大臣指定教育訓練講座一覧」の確認をしてください。本特集では、対象講座がある資格や検定の「取得コスト」コメント欄に「給付アリ」と記しました。



## 公 ファッションコーディネーター色彩能力検定

▶ P356

取得エネルギー	♡♡	3～1級があり、3カ月～半年程度の独学で合格可能。1級は2段階選抜で実技が課せられ、合格率も10%程度とやや難。
取得コスト	♡	全国特約書店で販売されている公式テキストと問題集は各3000円くらい。通信講座費用は、1年コースで約5万円。【給付アリ】
使える度	♡	カラー関係の資格では、業界内の認知度ナンバー1。だが1級でも、これだけでは就・転職の決め手にはならない。

「あなたにはこの色がお似合いです」なんてアドバイスができるようになりたい人にオススメ。最近では色彩全般を扱う傾向にあるが、もともとは服飾と色の関わりに重点を置いた検定。合格者もアパレルなどファッション業界関係者に多い。文部科学省認定の由緒正しい検定だが、就・転職ではやはり実務経験が優先。

【受験資格】 特になし。どの級からでも受験可【試験日】 6月と11月の年2回（1級は一次が11月、二次が12月）【主催】（社）全国服飾教育者連合会

## 公 カラーコーディネーター検定試験

取得エネルギー	♡♡	3～1級があり、2、3級は集中すれば3カ月程度の独学で合格可能。1級は論述問題もあり、1年くらいはかかる。
取得コスト	♡♡	主催者発行の参考書+問題集で約8000円。独学でもOKだが、スクールに通うなら半年でおよそ20～30万円。【給付アリ】
使える度	♡♡	3級受験者の大半は学生。就・転職の際にアピールするためには、ぜひとも2級以上を取得しておきたいところだ。

商品の「色」の知識が求められる、主に小売店勤務者などのキャリアアップ用。1級は「ファッション色彩」「商品色彩」「環境色彩」と業界ごとに分かれ、ビジネス向けになっている。インテリアコーディネーターやフラワー関係の資格・検定とあわせ持つケースも多い。業務知識を広げるための検定と考えよう。

【受験資格】 特になし。どの級からでも受験可【試験日】 6月と12月の年2回（1級は12月のみ）【主催】 東京商工会議所

## 民 和裁検定試験

取得エネルギー	♡♡	4～1級までそれぞれ筆記と実技がある。3カ月ほど和裁教室に通えば、4級の課題である平常浴衣が縫えるようになる。
取得コスト	♡♡♡	主催者による講習会は2日間で1万7000円。専門学校で学ぶ場合、12カ月で40万円前後の授業料がかかる。【給付アリ】
使える度	♡♡♡	4、3級までは家庭内レベルだが、2、1級はそれなりのプロ向け仕様。仕事に活かすなら2級以上を目指そう。

着物ブームが続いているが、“着物を縫える”人材となると、その数は減少しつつある。それだけに上級レベルの技術と知識を身につければ、職業として成り立つ。手に職をつけたい人向けの実用的な検定だ。メーカーから制作を請け負い、在宅ワーカーとして働く道も、気合と実力次第で開ける。

【受験資格】 特になし。都道府県職業能力開発協会が行う和裁技能検定の1、2級合格者は、該当級の実技試験が免除【試験日】 7月中旬【主催】 東京商工会議所

## 民 きものコンサルタント

取得エネルギー	♡♡	10～1級までであり、順を追って昇進試験を受けなければならぬ。上級取得に至るまでにはかなりの年数がかかる。
取得コスト	♡♡	受験資格を得るためにも教室通いはほぼ必須条件。主催者の認定校が開設している講座は6カ月で約20万円かかる。【給付アリ】
使える度	♡♡	9級を取得すると認定校お墨付きの着付け教室を開ける。着付け料は一件数千円で、お小遣い稼ぎとしてなら使える。

合格後に認定登録料4万7250円、協会の年会費7000円が必要。合格後の道は、結婚式場の着付け担当、呉服店の販売員、着付け教室の先生など。副業には適しているが、本職とするにはよほどのプロ意識がないと難しい。「自分で着物が着れるんです」と自慢するだけの証明書になってしまう可能性が大だ。

【受験資格】2年以上着装指導の実務経験がある者、もしくは着物教室の卒業生で20時間以上着物に関する教育を修了した者【試験日】10月上旬【主催】(社)全日本きものコンサルタント協会

## 民 ネイリスト技能検定試験

取得エネルギー	♡♡	3～1級までであり、養成講座へ通うのが一般的な学び方。上級は半年～1年、3級は20時間程度の受講でも合格できる。
取得コスト	♡♡	ネイルキットで1万円以上の投資は必要。通信講座は半年で約5万円～、スクールは週1回半年で約15万円～。
使える度	♡♡	2級以上なら就・転職の際に履歴書でアピールできるが、決定打にはならない。プロとして活躍するには本人の腕次第。

ネイルサロンの急増でネイリストへの注目度、人気度もアップ。検定合格を目指す人も年々増加している。だが、上級合格でも基礎的な知識や技術があることの証にすぎない。検定はあくまで自分のキャリアを補強するためのもので、結局は、本人のセンスや努力がモノを言う仕事だということをお忘れなく。

【受験資格】2級合格者のみ1級の受験可【試験日】春と秋の年2回【主催】日本ネイリスト協会

## 民 ジュエリーコーディネーター

取得エネルギー	♡	3級と2級があり、3級は4カ月程度の独学で合格可能。実務経験がある場合、さらに短い期間で合格できるケースも。
取得コスト (1級)	♡	主催者発行のテキスト代は、3級が4500円、2級が6825円。主催者認定の3級向け通信講座は4カ月で約3万円。
使える度	♡♡	業界内での注目は高い。専門店などへの就・転職には有利に働くかも。資格取得者に資格手当を支給している会社もある。

宝飾品に関する幅広い専門知識を問う。業界からの要望で設立された検定なので、就・転職でのアピール力はある。漠然と「ジュエリーが好き」という人よりも、専門店、問屋、メーカーなどのお勤め志望者向きだ。ちなみに合格後には、登録事務費1万円(5年間有効)と会費2万5000円(5年分)が必要。

【受験資格】3級は特になし。2級は3級合格後の登録者のみ【試験日】3級は3月と8月の年2回、2級は8月のみ【主催】(社)日本ジュエリー協会JC事務局

**民** **ブライダル・プランナー**

取得エネルギー	♡♡	2級と1級があり、未経験者は半年～1年ほど養成講座に通うのが一般的。経験者は2～4カ月の対策講座だけでも合格可。
取得コスト	♡♡♡	一般的な養成講座に通うなら、半年でおおよそ30万円～。協会認定校による2級対策講座は2カ月で約13万円かかる。
使える度	♡♡	1級合格後、協会認定のアシスタントブライダル・プランナーに登録（年会費3万1000円）すれば、就職の紹介があるかも。

海外にも通用する検定なのでキャリアアップ用としては最適。だが、業務経験がゼロの場合は、合格してもすぐさま就職できる確率はきわめて低い。“一生に一度”を演出するサービス業なので、専門知識を頭に入れただけではプロとしては不十分。接客能力を養うために結婚式場やホテルなどで経験を積むことが大切だ。

【受験資格】 特になし。1級からでも受験可 【試験日】 2級は1月下旬と10月上旬の年2回、1級は7月中旬のみ  
 【主催】 全米ブライダルコンサルタント協会 日本Rep.オフィス

**国** **美容師**

▶ P352

取得エネルギー	♡♡♡	専門学校で2年、通信課程なら3年間学び、美容師試験を受験する。まじめに勉強していれば試験はさほど難しくない。
取得コスト	♡♡♡	専門学校の学費は、学校によって差があるが、2年間でおよそ200万円前後。通信課程なら3年で70万円程度だ。【給付アリ】
使える度	♡♡♡	わがまを言わなければ、就職口はある。年齢や経験年数よりも、能力や職場による収入格差のほうが大きい。

「手に職」系の王道資格。取得までにお金も時間もかかる分、取得後は比較的楽に就職できる。だが、この世界は入ってからが大変。ハサミを持てるようになるまでの見習い期間がハードだ。また、人気が高い職業なので、一人前になった後の競争も厳しい。免許取得はあくまでスタートラインと思うべし。

【受験資格】 厚生労働大臣指定の専門学校の修了生のみ（専門学校は原則として高校卒業者のみ入学可）【試験日】 1月下旬、7月下旬の年2回 【主催】（財）理容師美容師試験研修センター

**民** **フラワーデザイナー資格検定試験**

取得エネルギー	♡♡	3～1級までであり、スクールに通って実技や理論などの基礎を学ぶ必要がある。3級は半年～1年ほどで履修できる。
取得コスト	♡♡	スクール費用は、3級対策講座（週1回1年間）で35万円前後かかる。その他、テキスト代や材料費などの投資が必要。【給付アリ】
使える度	♡	資格がなくてもフラワーデザイナーにはなれる。センスと経験重視の世界なので、検定合格はキャリアに箔が付く程度。

フラワー関連の資格では最も知名度が高く、初心者向け。“花を演出する”仕事は一見華やかだが、実はかなりハードだ。大量の花を運んだり、早朝や深夜に働いたり。知識だけでなく体力と根気のいるガテン系仕事なのだ。検定に合格しても、活躍できるのは一握り。花屋でアルバイトをしながら修業する覚悟も必要だ。

【受験資格】 協会の公認校などで規定の単位を履修した者 【試験日】 随時（東京と大阪は月1回程度実施）【主催】（社）日本フラワーデザイナー協会

## 民 フラワーデコレーター

取得エネルギー	♡♡	2級と1級があり、主催者が指定もしくは認定するスクールに通って取得を目指す。2級は最短で半年の講座がある。
取得コスト	♡♡♡	2級対策講座の費用は、通学、通信講座ともに1年で35万円前後。合格後の登録認定料は、2級で3万1500円かかる。【給付アリ】
使える度	♡♡	取得後、協会員（年会費1万2600円）として求人情報の提供などがある。やる気次第では教室を開いて独立する道も。
<p>プロを目指す人に人気の資格。目的や場面にあわせたアレンジや花の管理など、より専門的な技能が問われる。同協会によるフラワーカラーコーディネーターの資格をあわせ持つケースも多い。2級取得者でも協会認定の教室を開くことができる。フリーで活躍するのは狭き門だが、講師として収入を得ることは可能。</p>		

【受験資格】2級は協会所定の課題履修者。1級は2級協会員在籍1年以上で19歳以上【試験日】2級は2、6、10月の年3回、1級は年1回【主催】フラワーデコレーター協会

## 民 インテリアコーディネーター

▶ P211

取得エネルギー	♡♡	働きながら半年～1年の独学で合格可能。インテリア関係の実務経験がない場合、養成講座を利用するのも手だ。
取得コスト	♡♡	主催者発行の参考書は2冊で9030円。通信講座は1年で5万円弱、スクール料金は最低でも半年で約20万円かかる。【給付アリ】
使える度	♡♡	比較的取りやすい資格なので、取得者も大勢いる。一応「履歴書には書ける」が、就・転職の際のアピール力は弱い。
<p>住宅販売会社やインテリア会社の営業担当者が、スキルアップ用に取得するケースが多い。受験方法が3つのタイプから選べるため、自分のペースで勉強できる。太い人脈でもない限り、専業での独立開業は難しい。資格を生かすなら、建築士やキッチンスペシャリストといった関連資格をあわせ持つべき。</p>		

【受験資格】特になし【試験日】一次は10月頃、二次は12月頃【主催】(社)インテリア産業協会

## 民 ライフスタイルプランナー

取得エネルギー	♡	基礎試験と上級試験がある。基礎試験は筆記のみで、3カ月の独学で合格可能。上級試験は2年以上の実務経験が必要。
取得コスト	♡	公式の参考書は8000円、過去問題集は基礎編、上級編とも3500円。主催者による通信講座は3カ月で1万5100円。
使える度	♡	資格取得が、そのまま就職に結びつくことは稀。だが、資格手当が支給される会社もあり、業界での注目度は高い。
<p>生活を支えるハコ、つまり“住まいづくりに関するアドバイザー”の養成を目的とする資格。輸入住宅の人気にともない、輸入資材や施工、クレーム処理など専門知識を持つ人材への需要が増えている。インテリア関連では地味めの資格だが、取得者に待遇面で優遇する企業も。すでに業界で働いている人向きだ。</p>		

【受験資格】基礎試験は、受験年度の4月1日に満18才以上。上級試験は、基礎試験合格者で2年以上の実務経験者【試験日】2月と8月の年2回【主催】輸入住宅産業協議会

## 民 キッチンスペシャリスト

取得エネルギー	♡♡	経験を積みながら独学するか、スクールを利用するか勉強法がある。独学なら半年～1年、スクールは1年程で合格可能。
取得コスト	♡	協会発行の参考書は2冊で1万1850円。協会が開設している通信講座は、学科と実技をあわせて総合講座で3万7800円。【給付アリ】
使える度	♡♡	住宅設備関連の企業では、取得者を優遇するケースも。資格手当や昇格など待遇面でのレベルアップにつながりやすい。

キッチンの設備や設計の専門知識を問う。学科と実技試験があり、学科の合格者は実技を受けの際、3年間は学科試験が免除される。取得後は大きく分けてふた通りの道がある。他の関連資格とあわせて取得し独立開業を目指すか、販売会社やメーカーに勤務するかだ。就・転職の際、決め手にはならないが、多少の武器にはなる。

【受験資格】 学科試験は特になし。実技試験は受験年度の4月1日に満23才以上、もしくは満23才未満で実務経験が3年ある者 【試験日】 毎年11月23日 【主催】 (社) 日本住宅設備システム協会

## 国 栄養士

取得エネルギー	♡♡♡	2年制～4年制の指定の養成施設（専門学校、短大、大学）を卒業すれば取得できる。まずは学校に合格するのが先決。
取得コスト	♡♡♡	学校によって、学費にはかなりの差がある。2年制の養成学校に通う場合、最低でも80万円以上の学費がかかる。【給付アリ】
使える度	♡♡	就職難が続いており、取得しても希望の仕事に就けないことも。専門学校卒より大卒のほうが就・転職には有利だ。

献立の作成や栄養指導、調理法の改善など、“食”の管理指導の仕事をするには、この国家資格が必要。ただ、学校給食や保健所など公共施設では、欠員募集が一般的だ。手がたい資格職業と思われがちだが、正職員の求人はそれほど多くない。キャリアアップを望むなら、管理栄養士を目指したい。

【受験資格】 厚生労働大臣指定の養成施設を卒業後、各都道府県に申請すれば、無試験で取得できる【主催】 厚生労働省（問い合わせは）(社) 全国栄養士養成施設協会

## 国 管理栄養士

取得エネルギー	♡♡♡	4年制卒以外は1年なし2年の実務経験が必要。最短で4年はかかる。働きながら独学で合格するのは、かなりハード。
取得コスト	♡♡♡	4年制の専門学校に通うなら、学費は年間でおよそ60万円かかる。試験対策の通信講座は、1年で30万円ほど。【給付アリ】
使える度	♡♡♡	選り好みしなければ、就職先はみつかる。すでに栄養士として勤務している場合は、資格手当や昇格につながることも。

栄養士のワンランク上の資格。一定規模の施設では、管理栄養士の配置が義務づけられている。公共施設への就職はかなり厳しい。狙いめは一般企業。介護施設やスポーツクラブでの食生活相談、食品メーカーでの健康食品の開発など仕事の幅が広がっている。栄養士法改正により、2006年から試験内容が変わるので注意。

【受験資格】 2年制の養成施設卒業なら2年、3年制なら1年の実務経験が必要。4年制は実務経験不要【試験日】 3月下旬の年1回【主催】 厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室



## 民 フードコーディネーター

取得エネルギー	♡	3級～1級があり、現在1級の試験は行われていない。指定の教則本に沿った出題なので、3カ月程度の独学で合格可能。
取得コスト	♡	主催者による講習会は4科目2万円。教則本は3級用で2625円。合格後は、登録料2万円（5年間有効）が必要だ。【給付アリ】
使える度	♡	実力勝負の世界なので、就・転職の際、有資格者より実務経験者のほうが重宝される。3級は“履歴書に書ける”程度。

“食のスペシャリスト”として人気上昇中。だが、独立して料理番組や雑誌で活躍する人はほんの一部だ。合格後、飲食店や食品会社で、メニューや商品の企画を担当できればいいだろう。就・転職に生かすためにはせめて2級を取得しておきたいが、アピール力は期待できない。栄養士や調理師とあわせ持たすほうが効果的だ。

【受験資格】 2級は3級合格者のみ。調理師、栄養士などの有資格者は、3級の一部試験が免除【試験日】 3級は10月下旬、2級は一次が6月下旬、二次が8月下旬【主催】 日本フードコーディネーター協会

## 公 ソムリエ

取得エネルギー	♡♡♡	働きながらスクールに通うのが一般的。3年以上協会の正会員（誰でもなれる）なら、実務経験が3年でも受験できる。
取得コスト	♡♡	協会主催の通信講座は3万5000円、事前講習会（2日間）は2万3000円かかる。スクールは5カ月で18万円～。【給付アリ】
使える度	♡♡	業界内での信頼度があり、海外でも通用する。ホテルやレストランに勤める際、けっこうなアピールポイントとなる。

ワインのプロとして、日本でもすっかりおなじみ。料理とワインの組み合わせを提案するほか、飲み物の仕入れや管理などもこなす。単なるウェ이터とソムリエではお客に与える信頼感や、社内での評価が大きく異なる。シニア・ソムリエ、マスター・ソムリエと上級資格を取得していけばさらに価値は高まるだろう。

【受験資格】 アルコール飲料を含む飲食サービス業の実務経験が5年以上あり、現在も従事している者【試験日】 9月下旬の年1回【主催】（社）日本ソムリエ協会

## 公 ワインアドバイザー（ワインエキスパート）

取得エネルギー アドバイザー	♡♡	独学での合格も、難しいが可能だ。2年以上協会の正会員（誰でもなれる）なら、実務経験が2年でも受験できる。
取得コスト	♡♡	通信講座や講習会、スクール費用はソムリエと同じ。スクールに通わない場合は、教材やワインへの投資がかなり必要。
使える度 アドバイザー	♡♡	就・転職の際、ひとつの武器にはなる。だが、ワインだけでなく焼酎や日本酒など幅広くお酒の知識があることが重要。

ワインアドバイザーは酒類業界関係者を対象としているが、ワインエキスパートはアマチュア愛好家向け。仕事に生かすなら、ワインアドバイザーを目指したい。ソムリエほどではないが、“ワインの専門家”としての箔がつく。特に販売店では、一目置かれる店員になれ、お客の信頼も得やすいだろう。

【受験資格】 ワインアドバイザー→酒類業界など実務経験が3年以上で、現在も従事している者／ワインエキスパート→特になし【試験日】 一次は8月、二次は9月【主催】（社）日本ソムリエ協会

## 民 アロマコーディネーター

取得エネルギー	♡♡	養成講座を利用して受験資格を得る必要がある。スクールなら週1回4カ月、通信講座なら1年が標準の受講期間。
取得コスト	♡♡♡	スクールは9万円～35万円ほど。指定校の通信講座は約40万円。合格後に登録料3万1500円、年会費1万2600円が必要。
使える度	♡♡	資格取得を機に、異業種からの転職も可能。求人情報の提供や独立開業の支援など、協会のサポートが充実している。

“癒し系ビジネス”として、おなじみとなったアロマセラピー（この協会では英語読みで「セラピー」）。他の類似資格と比べ、プロ志望者に人気が高い。取得後はサロンに就職するケースが多く、本人のやる気次第では開業も可能だ。ただ、年々競争が激しくなっており、単なる趣味で終わってしまう可能性も大。

【受験資格】協会指定校及び加盟校での講座を修了した者【試験日】2月、6月、10月の年3回【主催】日本アロマコーディネーター協会

## 民 アロマテラピー検定

取得エネルギー	♡	検定テキストを使い、独学で合格できる。養成講座の場合は、基礎を学ぶ3カ月コースが標準（2級、1級の区別はない）。
取得コスト	♡	テキストは2級用で2625円。スクールは3カ月で2万5000円～。試験は筆記のみなので、オイルなどの購入の必要はない。
使える度	♡	2級は自分で楽しむための知識を問うものなので、あくまで趣味レベル。1級に合格しても、仕事につなげるのは困難。

アロマセラピー（この協会では仏語読み）に興味を持っている人向け。仕事につながる前段階、つまり基礎知識を習得するための検定だ。1級合格後、講習を受けることでアドバイザーに認定される。だが、本格的に働きたいなら、インストラクター、アロマセラピストといった同協会の上級資格がぜひとも必要だ。

【受験資格】特になし。1級と2級の併願受験も【試験日】5月と11月の年2回【主催】日本アロマテラピー協会

## 民 リフレクソロジスト

取得エネルギー	♡	養成講座を卒業すれば、自動的に取得できる。通学講座は、1カ月～6カ月までさまざま。短期間での取得も可能だ。
取得コスト	♡♡♡	協会の直営校のスクールは週2回3カ月で46万2000円、通信講座は最短7カ月で25万円。資格認定に必要な費用はゼロ。
使える度	♡	認知されたばかりの職種なので、今のところ安定した就職先は多くない。まずは協会直営のサロンに就職するのが無難。

リフレクソロジーとは“英国式足裏マッサージ”のこと。オフィス街を中心に店舗が急増中。主催者はプームの火付け役で、類似資格のなかでは最も実績がある。スポーツクラブや健康サロンなどでの需要は拡大しているが、将来性はまだ未知数。アロマセラピーなどの関連資格もあわせ持つほうが、就・転職には有利だ。

【受験資格】協会指定の講座を修了した者【主催】日本リフレクソロジー協会